

# 小学校活用例

## 掲載作文

「はだ色」



### ○ねらい

人権作文集『はばたき』を活用し、共通のテーマへの感想を深め合い、児童の人権意識の高揚と、身の回りの様々な人権侵害や差別の問題を多角的に見る目を養うため、全校児童の意見交流する場として掲示場所を設ける。

### ○活用の仕方

- 一 「はだ色」について校長講話で取り上げ、その概要を掲示する。
- 二 感想を記入させ、各クラス代表児童一名を人権コーナーに掲示する。
- 三 掲示された感想を読んで思ったことや感じたことを花型付箋に書かせ、代表児童の感想の周りに貼る。
- 四 同じテーマに対する感想を持たせ、そこから学年を超えた個々の意見を全校児童で更に深め合わせる。

### ○児童の感想（掲示代表）

- ・ クレヨンのはだ色は、いろいろなはだの色があるのになんでひとつの色なんだろうなとおもいました。ひとつの色だけだとみんな、くやしくなったりします。 【二年】
- ・ 自分たちと違うからとか、うざいとか自分勝手な理由でいじめるのと似ています。そういう人を注意したり止めたりできるようにしたいです。 【六年】

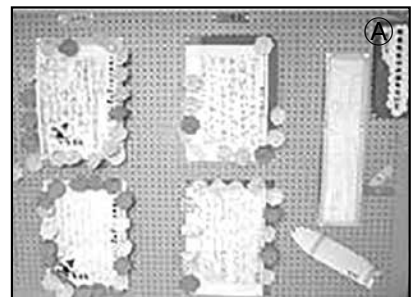
### ○掲示代表児童へのコメント

- ・ ともだちとじぶんをたいせつにしなきゃだね。わたしもたいせつにしようとおもったよ。 【二年生へ 六年生より】
- ・ 最後の「人それぞれを大切に生きていく」ということに感動しました。 【五年生へ 六年生より】

### ○活用の効果

- 一 共通の話題から個々に自分の感想を持たせた後、同学年、異学年の児童の意見に触れることで、自己と比較し、考えを広げることができた。
- 二 代表児童へのコメント（付箋）を通し、多角的な考えに触れ、深めることができた。
- 三 付箋によるコミュニケーションを通し言葉を大切にしようとする意識が高まり、人権意識の高揚に結びついた。
- 四 代表児童への感想に対するコメントを見て、多面的な考えに触れ、互いの意見を尊重し合う態度が育った。

### ○掲示の様子



- ①全体掲示
- ②個人の感想
- ③感想に対するコメント

### ○掲示の様子



作文の全文と、児童の感想